

2015年度 第2四半期 業績概要

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2015年3月21日～2015年9月20日)

1. 2015年度上期 連結決算

- 2015年度上期実績（概要・セグメント別）
- 事業セグメント別売上高構成比
（14年度上期→15年度上期）
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
（14年度上期→15年度上期）
- 営業利益増減要因分析
（14年度上期→15年度上期）
- 2015年度7-9月期における取り組み

2. 2015年度下期および通期 連結決算見通し

- 2015年度通期 業績見通し（概要・セグメント別）
- 営業利益増減要因分析
（14年度→15年度計画）
- 2015年度下期における取り組み

3. 参考資料

- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

モーション コントロール (M)

【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ パワーコンディショナ
- ・ EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



GaN搭載 太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット (R)

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット, 新世代ロボット, ハンドリングロボット
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット など



新型7軸スポット溶接
ロボット



バイオメディカル向け
新形双腕ロボット

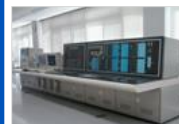


パラレルリンクロボット

システム エンジニアリング (S)

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品 など



上下水道用
電気計装システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・ 情報関連事業
- ・ 物流サービス など

1. 2015年度上期 連結決算

●売上高・利益ともに上期としては過去最高

	<u>15年度 上期</u>	15年度 上期	計画比	14年度 上期	<u>前年同期比</u>	
	<u>実績</u>	計画		実績	増減額	増減率
売上高	<u>2,079億円</u>	2,080億円	▲1億円	1,939億円	<u>+140億円</u>	<u>+7.2%</u>
営業利益	<u>190億円</u>	155億円	+35億円	149億円	<u>+41億円</u>	<u>+27.2%</u>
経常利益	<u>190億円</u>	160億円	+30億円	156億円	<u>+34億円</u>	<u>+21.5%</u>
四半期純利益	<u>120億円</u>	100億円	+20億円	117億円	<u>+3億円</u>	<u>+2.9%</u>

・ (M)(R)が牽引し、売上高・営業利益ともに増収増益

(単位：億円)

	15年度 上期		15年度 上期		計画比 増減額	14年度 上期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	2,079		2,080		▲1	1,939		+140	+7.2%
(M) モーションコントロール	982		995		▲13	907		+75	+8.3%
(R) ロボット	774		765		+9	672		+101	+15.1%
(S) システムエンジニアリング	176		175		+1	155		+21	+13.3%
その他	148		145		+3	205		▲57	▲27.8%
営業利益	190	9.1%	155	7.5%	+35	149	7.7%	+41	+27.2%
(M) モーションコントロール	123	12.5%	118	11.9%	+5	105	11.5%	+18	+17.5%
(R) ロボット	89	11.5%	63	8.2%	+26	58	8.6%	+31	+53.9%
(S) システムエンジニアリング	▲21	-	▲22	-	+1	▲12	-	▲9	-
その他	5	3.6%	3	1.7%	+3	4	2.2%	+1	+17.5%
消去または全社	▲6	-	▲7	-	-	▲5	-	▲1	-
経常利益	190	9.1%	160	7.7%	+30	156	8.1%	+34	+21.5%
四半期純利益	120	5.8%	100	4.8%	+20	117	6.0%	+3	+2.9%

(注) 15年度上期計画は、2015年7月21日発表時点の数値

モーションコントロール

- ACサーボは、米州を中心に工作機や半導体関連向けが伸張。中国での新製品切り替えが進み収益性が向上
- 汎用インバータは中国のインフラ関連、米国のオイル&ガス市場向けが低迷。一方、昨年買収したSOL社の太陽光発電用パワーコンディショナが売上に貢献し、全体としては堅調

[注] SOL社 : Solectria Renewables, LLC (米国)

ロボット

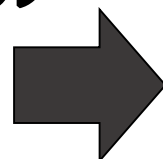
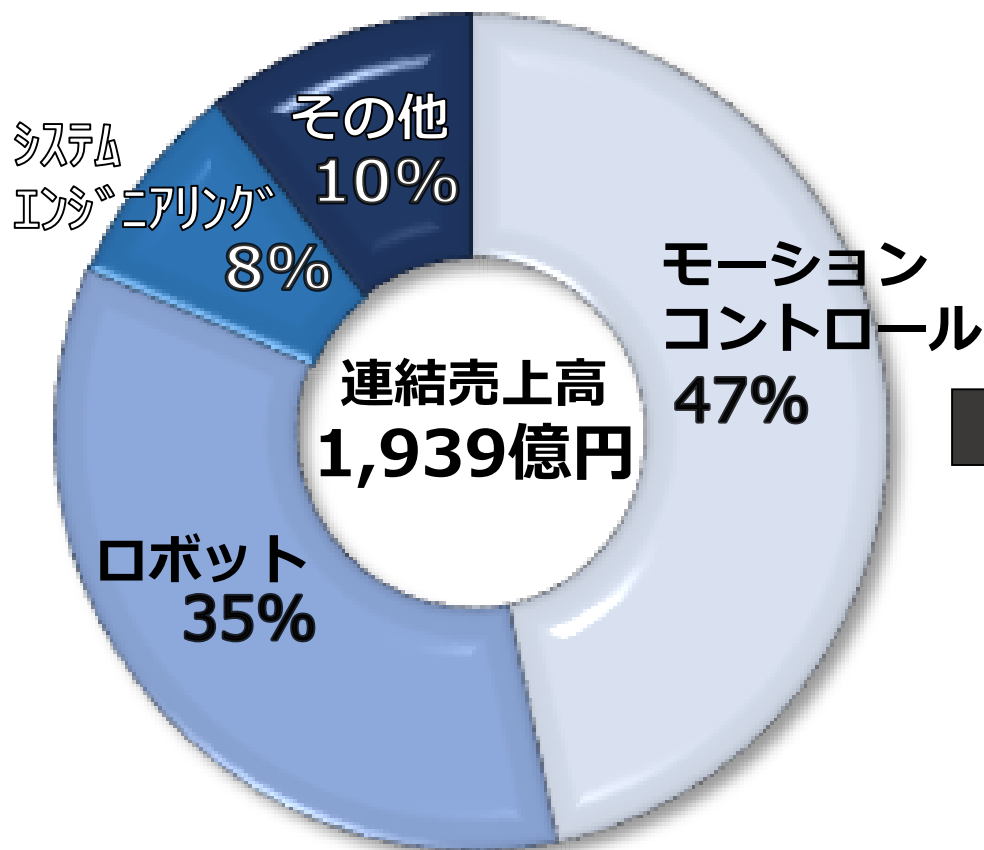
- 自動車向けの堅調な需要、ロボットセンタの活用による自動車分野以外の一般産業市場を取り込み、米国・中国を中心に好調

システムエンジニアリング

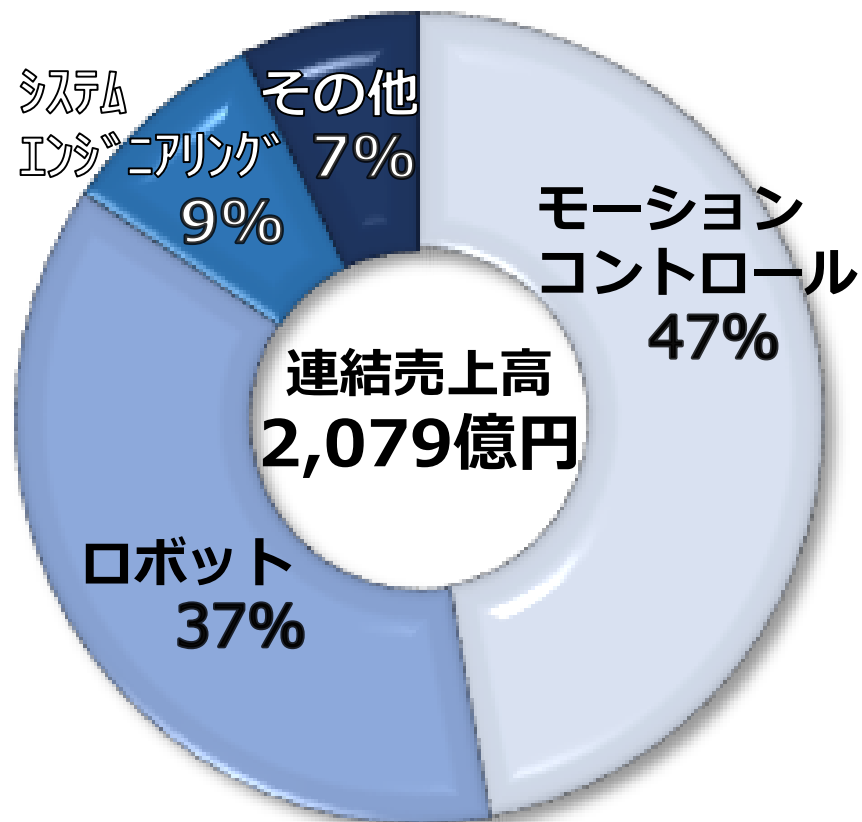
- 主力の鉄鋼プラント、社会システムは堅調に推移。Switch社の子会社化に伴い、大型風力発電関連の売上が増加

[注] Switch社 : The Switch Engineering Oy (フィンランド)

14年度 上期



15年度 上期



● 米州を中心に海外売上高が伸張

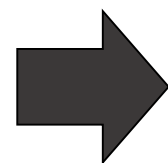
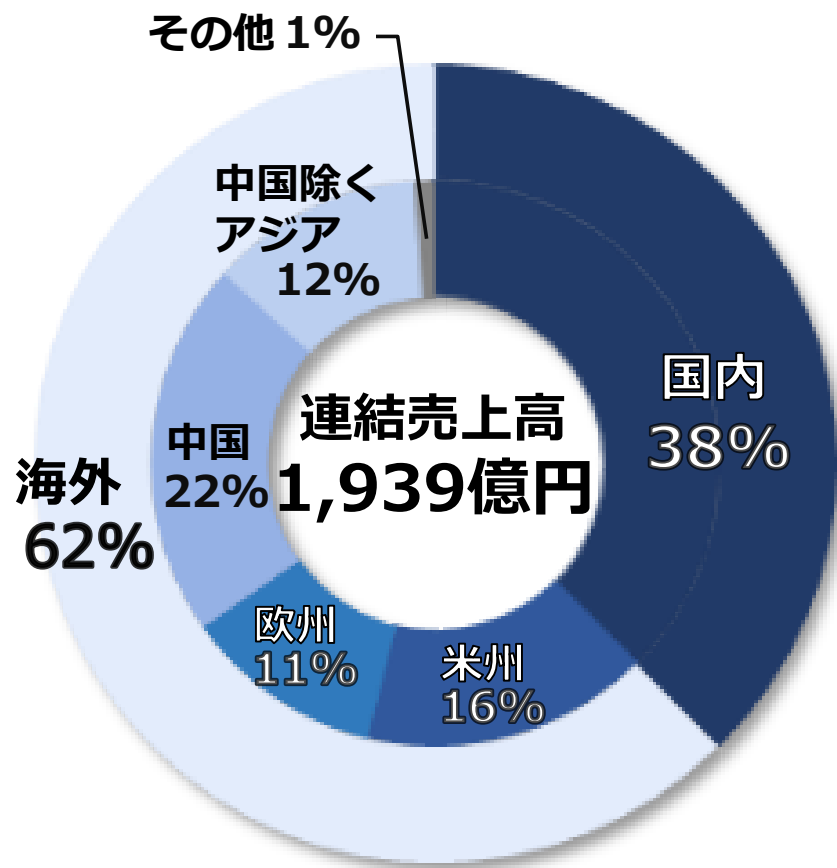
（単位：億円）

	15/上期	14/上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,079	1,939	+140	+7.2%
国内	626	727	▲101	▲13.9%
海外	1,453	1,212	+242	+19.9%
米州	429	320	+109	+34.3%
欧州	252	218	+33	+15.3%
中国	473	418	+56	+13.3%
中国除くアジア	275	237	+38	+16.1%
その他	24	19	+5	+24.8%

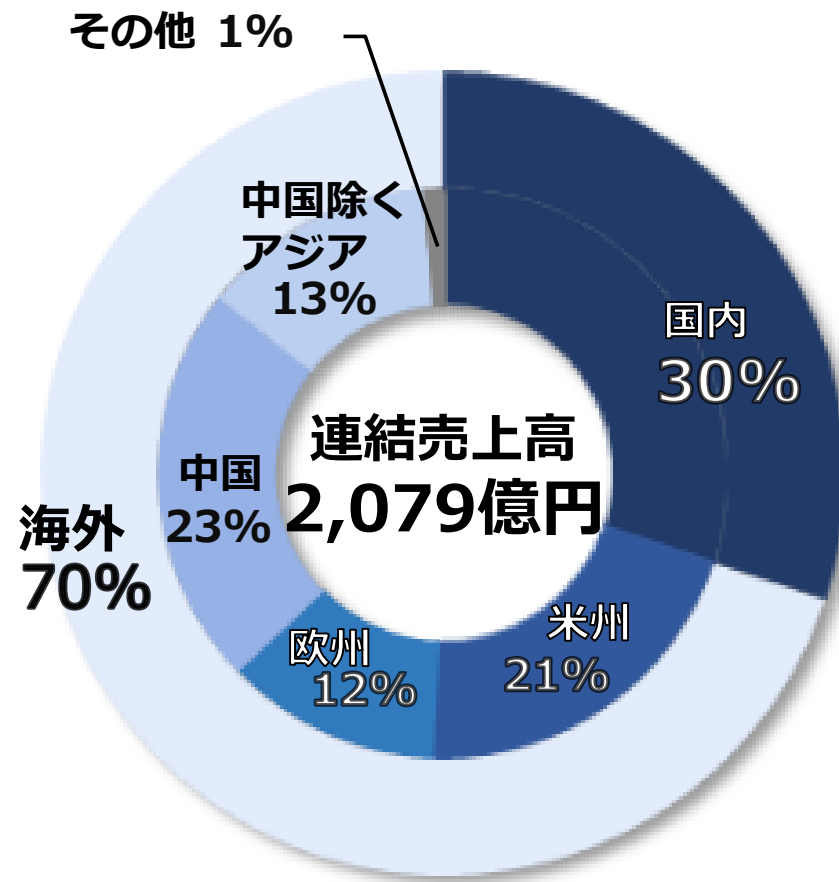
[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含みます

● 好調な米州の売上高構成比率が大幅伸長

14年度 上期

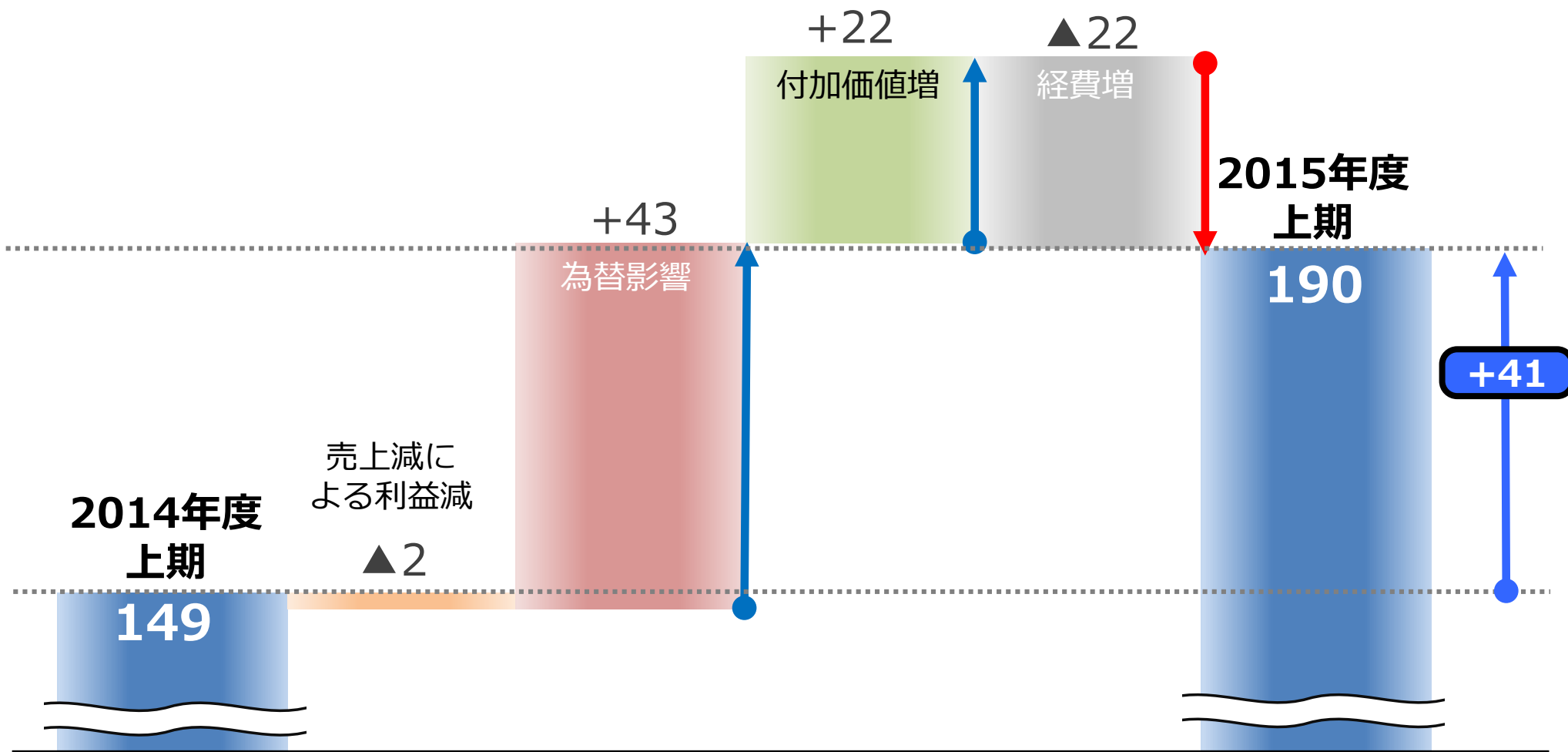


15年度 上期



営業利益増減要因分析 (2014年度上期 → 2015年度上期)

(単位：億円)



2015年度7-9月期における取り組み (1)

中国における販売力の強化

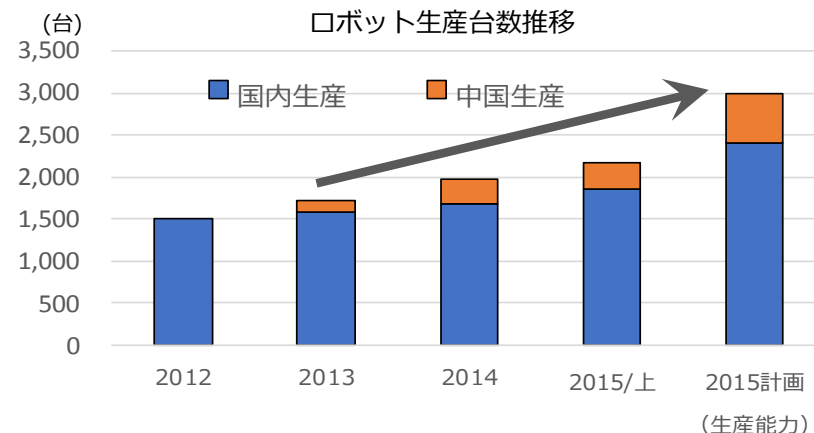
- 家電トップメーカー美的集団との提携により、生産現場のロボット化を加速
- 高齢化が進む中国での介護・リハビリ分野への市場開拓
- ロボット事業を展開する合併会社2社の設立
 - ・ 広東安川美的工業機器人有限公司_産業用ロボット事業 (15年10月末予定)
 - ・ 広東美的安川服務機器人有限公司_サービスロボット事業 (16年3月予定)



中間第3工場 外観

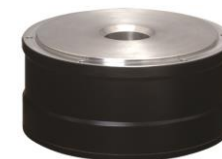
グローバル生産力・販売力の強化

- ロボット生産能力の増強:グローバル生産3,000台/月 体制構築
 - ・ 新第3工場 竣工(15年9月)・・・国内生産能力2,200⇒2,400台/月
 - ・ 常州工場の生産能力増強・・・300⇒600台/月 (15年度末)
- 新製品の拡販
 - ・ Σ-7の中国拡販に向けた瀋陽工場の生産増強
 - ・ マトリクスコンバータU1000の拡販



ACサーボドライブ「Σ-7」シリーズのラインアップを拡充

- 医療機器等への適用拡大を狙ったAC100V入力形の市場投入 (15年8月)
- 新形ダイレクトドライブモータの販売開始 (15年7月)



ダイレクトドライブモータ
(SGM7Dモデル)

新形600kg可搬ハンドリングロボット MOTOMAN-MH600を発売(15年9月)

- 手首軸を強化し大型自動車部品・住宅材・建機部品等に最適化



MOTOMAN-MH600

ヒューマトロニクス事業領域における取り組み加速

- 下肢リハビリ装置「LR²」の拡販
- 歩行アシスト装置「ReWalk」の拡販
- 促通反復療法のリハビリ装置「前腕回内回外訓練装置」の開発 (15年8月)
- 医療・福祉分野向け小型関節駆動ユニットの開発 (15年10月)



下肢用リハビリ装置LR²

世界初のフルSiC搭載マトリクスコンバータを開発(15年8月)

- 入出力電圧電流の正弦波化により、小型化、省電化を実現



小型関節駆動ユニット

2. 2015年度下期および通期 連結決算見通し

- 中国市場の減速など先行き動向は不透明
- 売上高を下方修正も、質の改善を加速し利益は据え置き

	15年度 予想	15年度 前回計画	前回計画比 増減額	14年度 年度 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	4,200億円	4,350億円	▲150億円	4,002億円	+198億円	+5.0%
営業利益	365億円	365億円	-	315億円	+50億円	+15.8%
経常利益	370億円	370億円	-	339億円	+31億円	+9.2%
四半期純利益	240億円	240億円	-	248億円	▲8億円	▲3.3%

（注）15年度前回計画は、2015年4月20日時点発表の数値

2015年度通期見通し（セグメント別）

- 中国市場の成長鈍化、米国エネルギー関連等の減速により (M)(S)は下方修正
- 好調な市場環境により(R)を上方修正

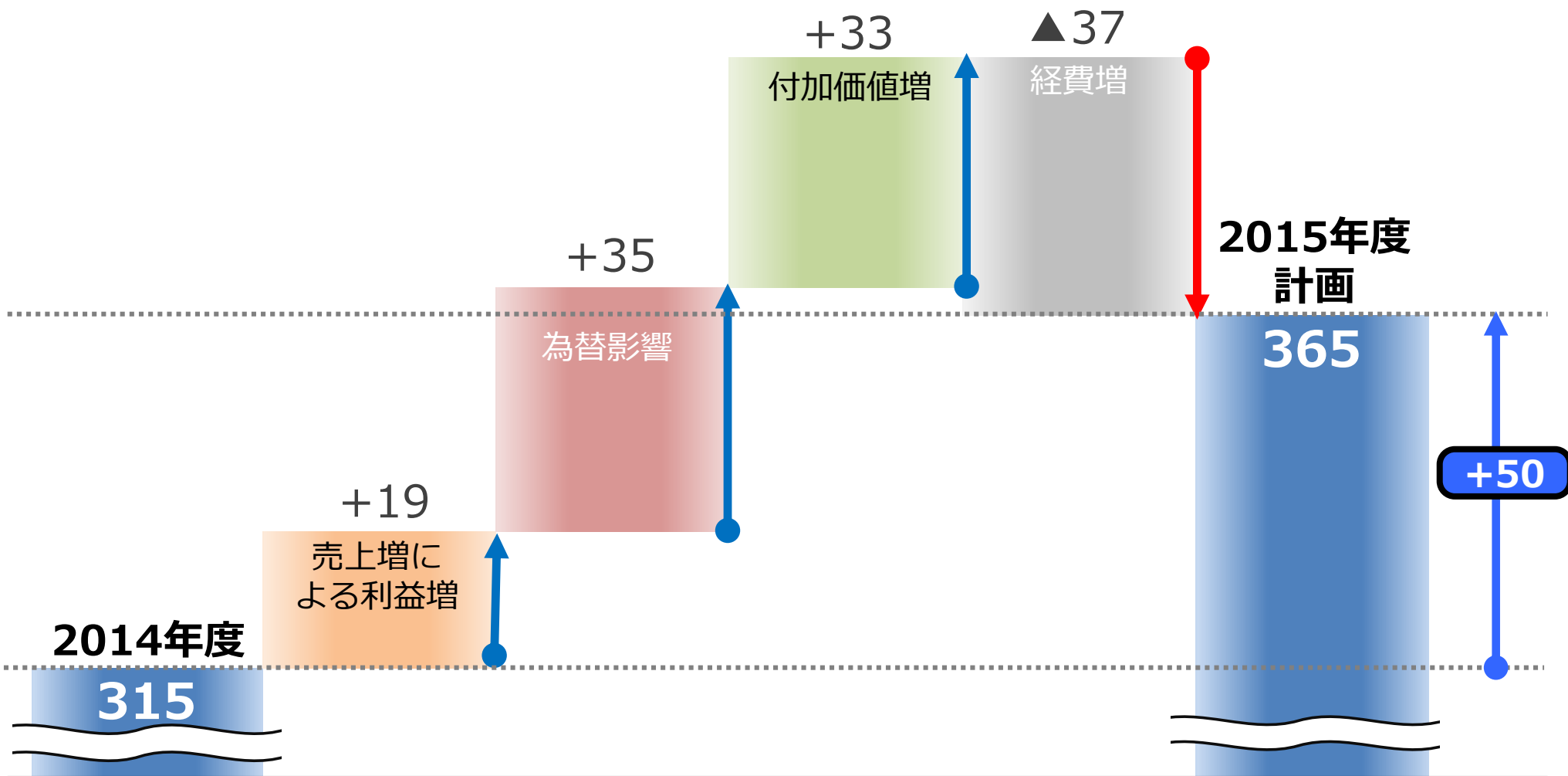
(単位：億円)

	15年度		15年度		前回予想比 増減額	14年度		前年同期比	
	今回予想	利益率	前回予想	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	4,200		4,350		▲150	4,002		+198	+5.0%
(M) モーションコントロール	1,945		2,110		▲165	1881		+64	+3.4%
(R) ロボット	1,530		1490		+40	1360		+170	+12.5%
(S) システムエンジニアリング	430		460		▲30	410		+20	+4.9%
その他	295		290		+5	351		▲56	▲16.0%
営業利益	365	8.7%	365	8.4%	0	315	7.9%	+50	+15.8%
(M) モーションコントロール	224	11.5%	253	12.0%	▲29	217	11.6%	+7	+3.0%
(R) ロボット	156	10.2%	126	8.5%	+30	106	7.8%	+51	+48.2%
(S) システムエンジニアリング	▲13	-	▲10	-	▲3	▲8	-	▲5	-
その他	10	3.2%	8	2.8%	+2	13	3.6%	▲3	▲25.6%
消去または全社	▲12	-	▲12	-	▲0	▲13	-	+1	-
経常利益	370	8.8%	370	8.5%	0	339	8.5%	+31	+9.2%
四半期純利益	240	5.7%	240	5.5%	0	248	6.2%	▲8	▲3.3%

(注) 15年度 前回予想は、2015年4月20日発表時点の数値

営業利益増減要因分析（2014年度 → 2015年度計画）

（単位：億円）



• (M)(R)新製品の開発・市場投入

- 次期インバータの開発 (16年度市場投入予定)
- ロボット2016年モデルの開発 (16年度市場投入予定)

• ACサーボ Σ -7シリーズの拡販加速

- 中国生産体制の強化と、中国・アジア市場での切替加速
- 米州・欧州・日本での切替加速

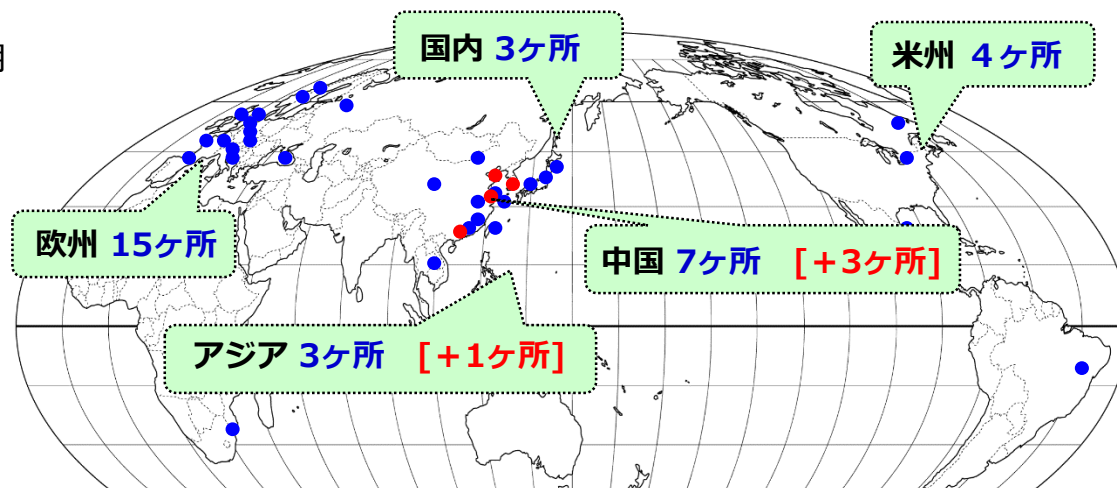


Σ -7シリーズ

• ロボットセンタを活用した一般産業向け売上拡大

- 一般産業市場のSIer育成・開拓
- 韓国 大邱(テグ)に設立予定(15年11月)

グローバルにおけるロボットセンタ拠点数
32ヶ所 (15年度2Q末) + 4ヶ所 (15年度下期中)
36ヶ所 (15年度末)



3. 参考資料

◆設備投資の状況（連結） (億円)

	2013年度	2014年度	2015年度計画
設備投資額	169.8	363.7	180.0
減価償却費	92.2	115.3	135.0

◆研究開発投資の状況（連結） (億円)

	2013年度	2014年度	2015年度計画
研究開発投資	140.3	153.1	150.0

◆為替状況（連結） (円)

	2013年度			2014年度			2015年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期実績	下期（想定）	通期（想定）
対 米ドル	98.2	101.0	99.6	102.2	114.2	108.2	121.9	120.0	120.9
対 ユーロ	128.5	136.9	132.7	139.4	139.9	139.7	134.3	130.0	132.2

(注)期中平均レート

B/S構造の推移

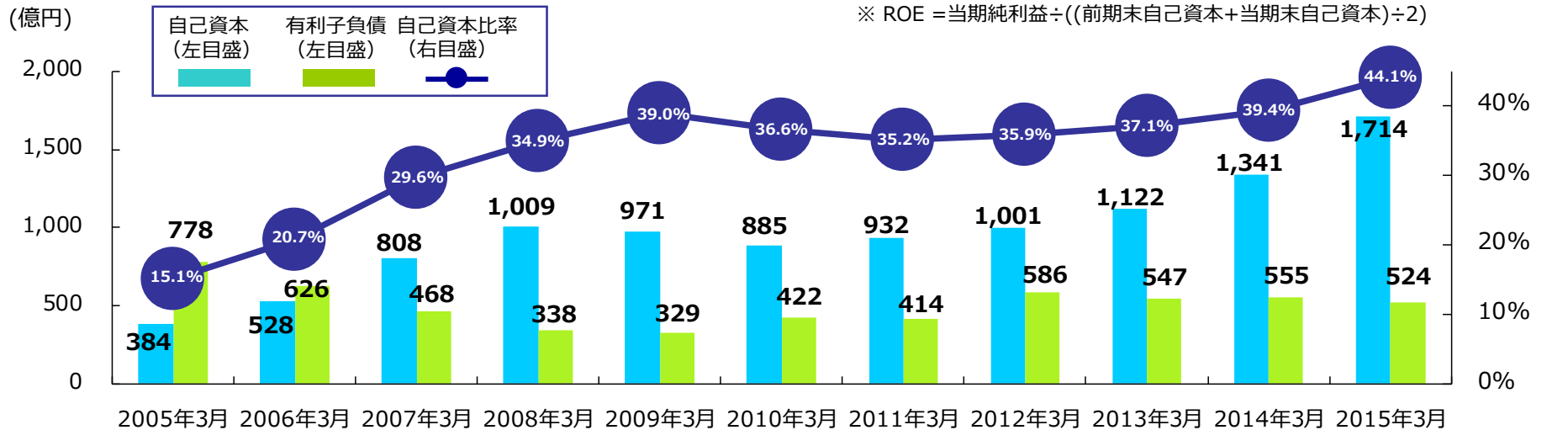
2015年3月20日時点

- ▶ 自己資本比率 44.1%
- ▶ 自己資本 1,714億円
- ▶ 有利子負債 524億円
- ▶ D/Eレシオ 0.31
(ネットD/Eレシオ) 0.16
- ▶ 棚卸資産 855億円
(回転月数) (2.6ヶ月)
- ▶ ROE 16.3%

2015年9月20日時点

- ▶ 自己資本比率 46.4%
- ▶ 自己資本 1,808億円
- ▶ 有利子負債 485億円
- ▶ D/Eレシオ 0.27
(ネットD/Eレシオ) 0.12
- ▶ 棚卸資産 874億円
(回転月数) (2.5ヶ月)

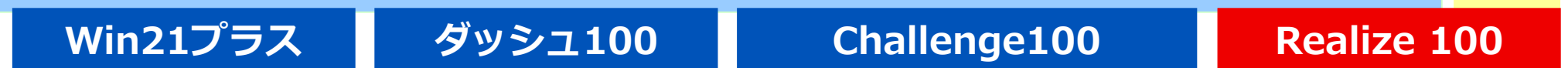
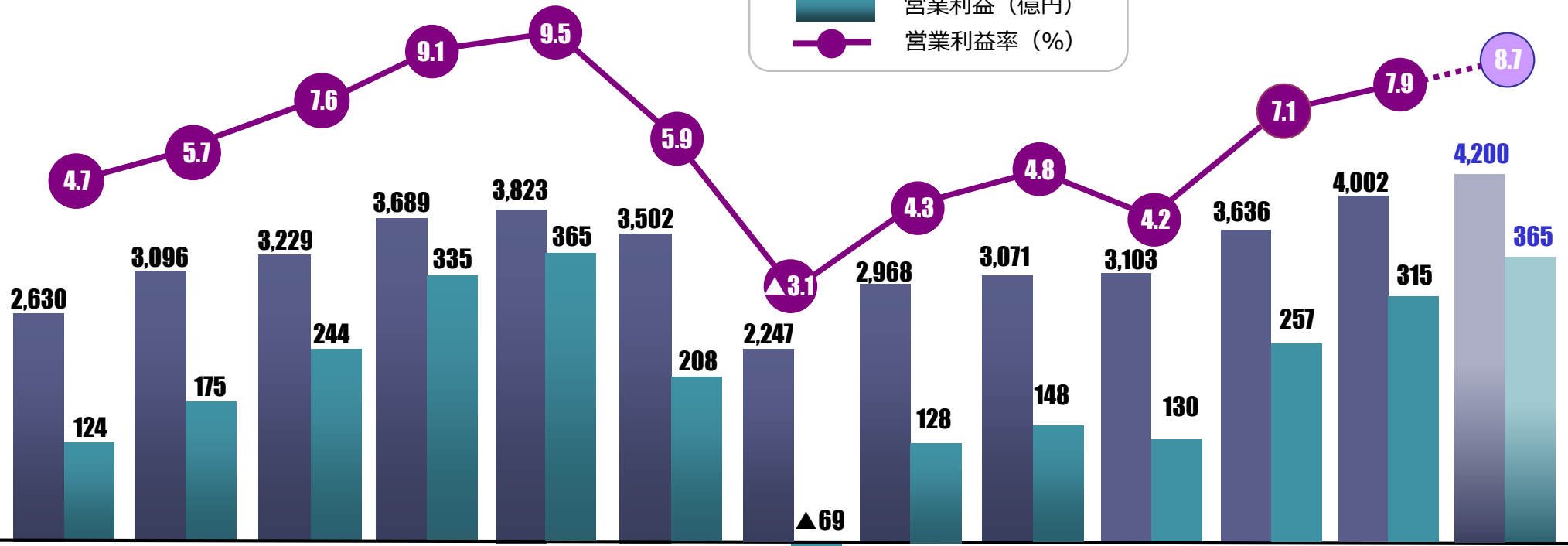
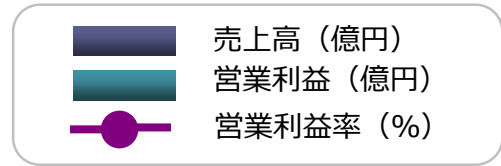
※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



	2005年3月	2006年3月	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月
営業CF	58	187	150	177	125	40	25	64	246	240	290
投資CF	▲22	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181	▲169	▲279
フリーCF	35	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66	70	11

(億円)

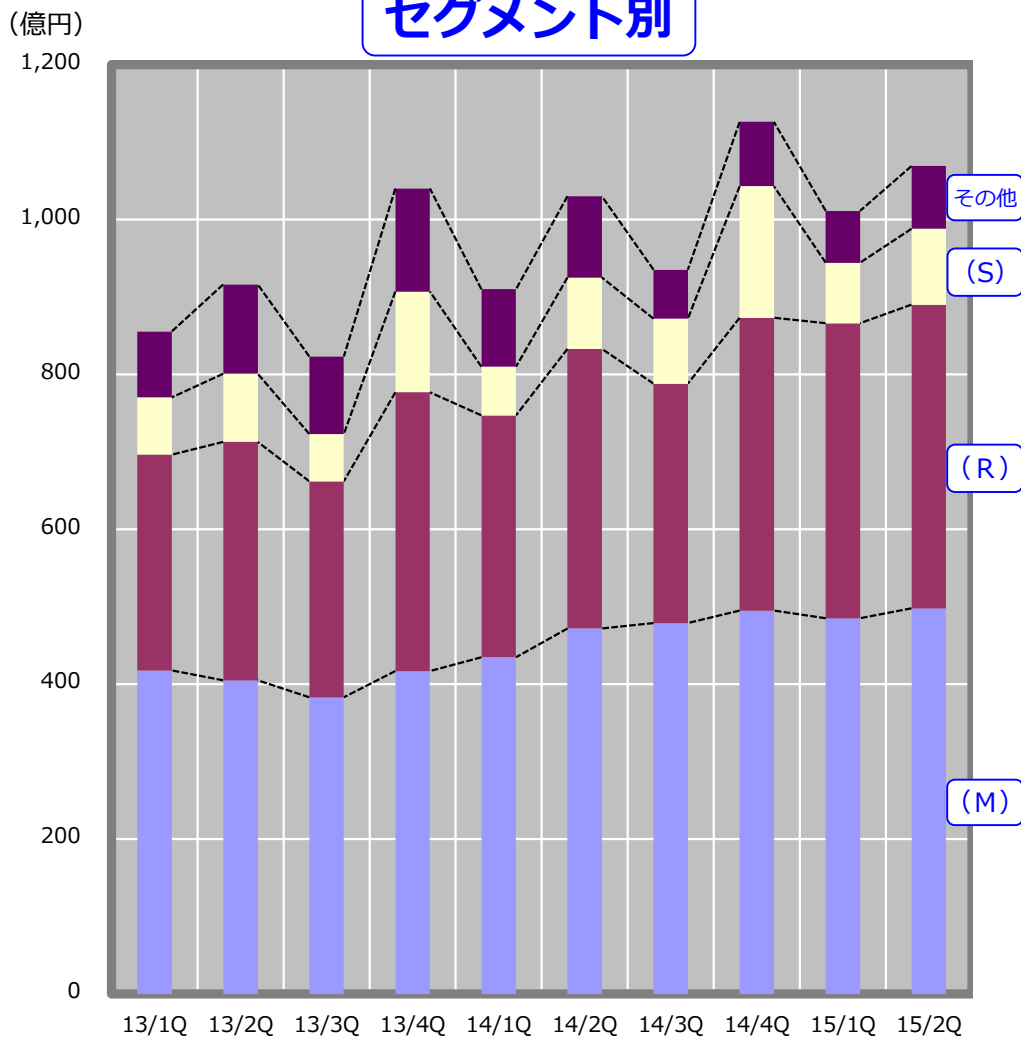
連結売上高・営業利益推移（03年度～15年度計画）



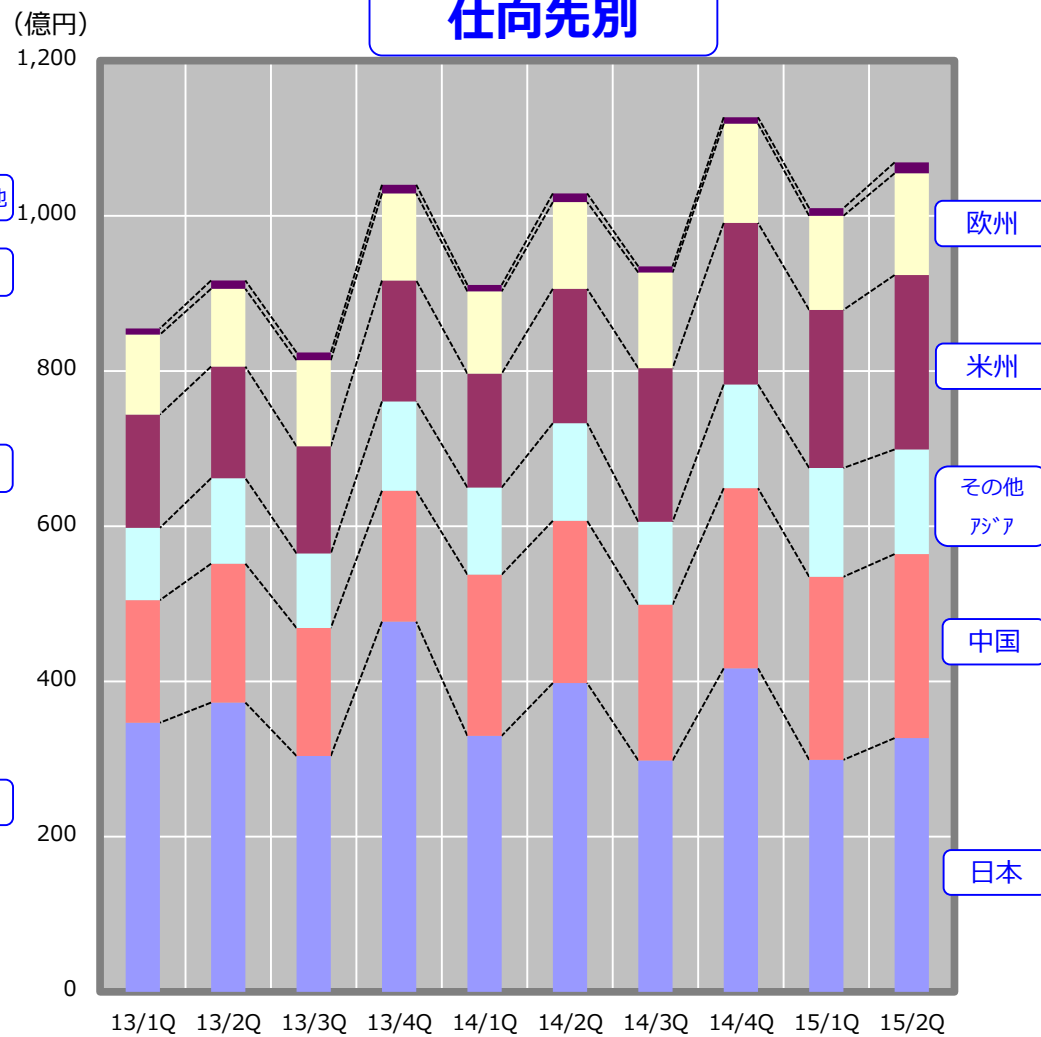
中期経営計画

四半期連結売上高推移

セグメント別



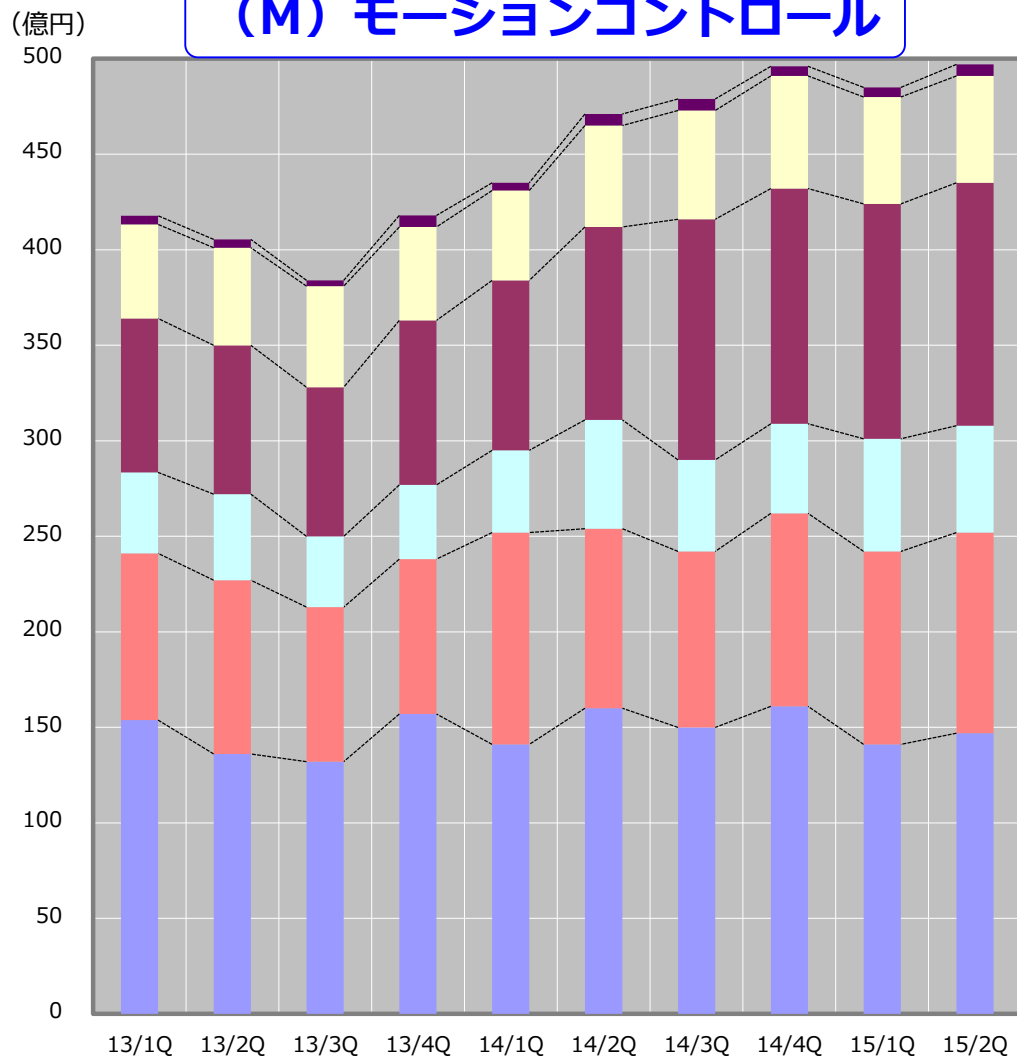
仕向先別



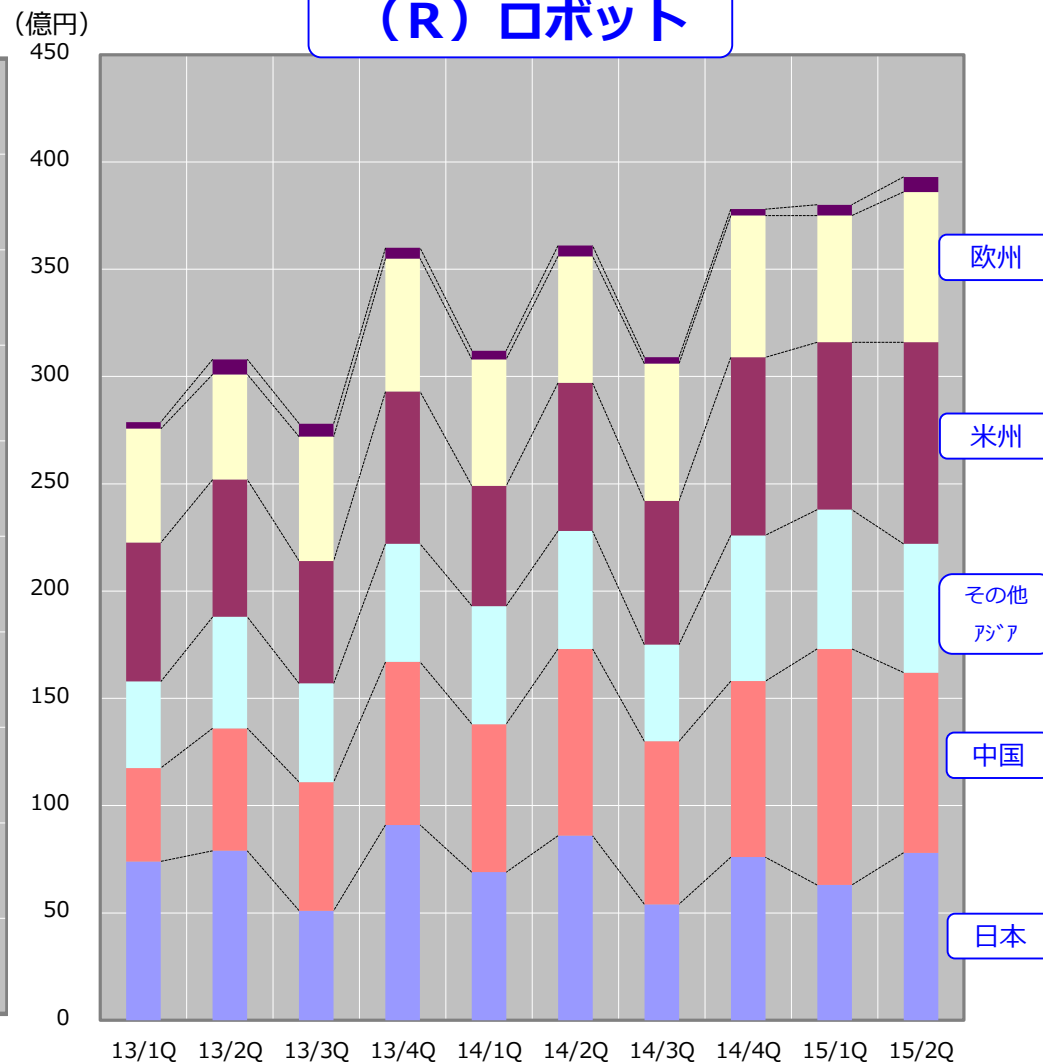
[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

(M) モーションコントロール



(R) ロボット



主要生産拠点

